

2015年8月26日

当院救急外来を受診（または過去に通院・入院されたことのある）された  
患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 救急通報から薬物中毒の重症度を判断することは可能かについての検討

[研究機関名・長の氏名] 北海道医療センター 菊地 誠志

[研究責任者名・所属] 北海道医療センター 臨床教育部 田中景子

[研究の目的]

救急搬送された急性薬物中毒の症例において、病院到着前の事前情報から、救命処置（気管挿管）または集中治療（人工呼吸管理、血液浄化療法）を要するか否か推測が可能か比較検討する。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2012年1月1日から2015年4月30日までの3年間に急性薬物中毒で当院に救急搬送された患者

○利用するカルテ情報

カルテ情報：年齢、性別、事前聴取で得たバイタルサイン（血圧、脈拍、呼吸数）、薬物内服量、意識レベル（Japan Coma Scale）、薬物内服からの経過時間、気管挿管・人工呼吸器・血液浄化療法使用の有無、ICU滞在日数、入院日数

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

\* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市西区山の手5条7丁目1-1

北海道医療センター救急科 担当医師 田中景子

電話 011-611-8111 FAX 011-611-5820